

平成25年度 事業報告

公益財団法人川崎市生涯学習財団が定款第4条に基づき実施した、平成25年度の事業実績は以下のとおりである。

I 生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業（公1）

1 生涯学習に関する学習機会提供事業（公1）

この事業は、生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援を通じて、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現と、市民の参加・協働による市民主体のまちづくりに寄与することを目的とした事業である。

(1) かわさき市民アカデミー（定款第4条第1項第1号）

川崎市が全国に誇れる「市民大学」である、かわさき市民アカデミーは高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であり、生涯学習社会実現の一助となっている。

平成23年度からNPO法人かわさき市民アカデミーに運営を移管し、財団は広報と会場確保、三者連絡会議の主宰及び各種委員会への委員派遣、対外活動支援等の役割を担い、引き続き協働事業として推進した。

① 三者連絡会議の開催

	25年度	24年度	増減
回数	4	4	0

② 開講式の開催

日時 平成25年4月5日（金）

対象 2013年度 前期受講生

内容 式典、記念講演 「世界秩序の岐路」 成蹊大学 教授 遠藤 誠治
～カール・ポランニー『大転換』から考える変化の方向性～

	25年度	24年度	増減
参加者	153	131	22

③ 受講生のつどいの開催

日時 平成26年3月5日（水）

対象 講師・受講生

内容 20周年記念セレモニー/和の音を楽しむトーク&三味線/班対抗クイズ・懇親会

	25年度	24年度	増減
参加者	82	78	4

④ 2013年度の講座・ワークショップ数

	25年度	24年度	増減
ア 講座数	56	52	4
イ ワークショップ数	26	26	0

⑤ 会員・聴講生の受講者数

ア 2013年度前期（延べ受講者数）

	25年度	24年度	増減
会員	2,033	1,819	214
聴講生	1,235	1,408	△173
延べ人数	3,268	3,227	41

イ 2013 年度後期（延べ受講者数）

	25年度	24年度	増減
会員	1,938	1,724	214
聴講生	1,298	1,378	△80
延べ人数	3,236	3,102	134
合計（前期・後期）	6,504	6,329	175

⑥ フェスタ '13（学園祭）及び 開学20周年記念シンポジウム
12月14日（土）15日（日）

主催：NPO 法人かわさき市民アカデミー
（公財）川崎市生涯学習財団

テーマ 「開学20周年記念フェスタ」

- ・基調講演「環境革命の時代に」 東京農業大学客員教授 涌井 史郎
- ・講演、演奏、子ども理科教室、朗読、展示など
- ・記念シンポジウム 基調講演「大学に、未来はあるか？—新たなる千年紀に」
東京大学教授 吉見 俊哉

パネルディスカッション

	25年度	24年度	増減
参加者	1,174	1,148	26

(2) ふれあいサマーキャンプ（定款第4条第1項第1号）

子どもたちの体験活動として、川崎市の友好自治体との連携等によって、川崎市の小・中学生が豊かな自然や文化に触れるとともに、子ども同士の交流を通して心身ともに健全に成長することを目的として開催。川崎市教育委員会、川崎市教職員団体及びこの法人で構成する実行委員会を組織し実施している。

ア 北海道中標津町コース（8月19日～22日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）若竹の里及び旅館

（主な活動）食品加工実習（アイスクリーム・バター・ソーセージ）、
工場見学、学校交流、溪流釣り・摩周湖見学

イ 岩手県花巻市コース（8月2日～5日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）公民館及びホームステイ

（主な活動）昆虫生態観察、さき織り・和紙すき体験、カヌー・ボート体験、
農業生活体験、被災地陸前高田訪問、地元の方々との交流

ウ 長野県富士見町コース（7月30日～8月2日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）八ヶ岳少年自然の家

（主な活動）地元小中学生との交流、パターゴルフ、軽登山、酪農体験、
自然観察、天体観測、キャンプファイヤーなど

エ 和歌山県古座川町・太地町コース（7月30日～8月2日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）ホームステイ及び旅館

（主な活動）地元小学生との交流、ゆずジャム作り、熊野古道ウォーク
川遊び、カヌー教室、くじら博物館見学など

オ 島根県益田市コース（7月26日～29日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）公民館、集会場

（主な活動）夜神楽見学、川遊び、川釣り、地域交流、パン作り、
ブルーベリージャム作り

	参加者数		
	25年度	24年度	増減
ア 北海道中標津町コース	24	22	2
イ 岩手県花巻市コース	23	22	1
ウ 長野県富士見町コース	35	40	△5
エ 和歌山県古座川町・太地町コース	24	23	1
オ 島根県益田市コース	20	17	3
合 計	126	124	2

カ 友好自治体の青少年受入

和歌山県古座川町受入(8月27日～29日、2泊3日)小学生

(宿 泊) 川崎市青少年の家

(主な活動) 教育委員会訪問、学校交流、東芝科学館見学、
よみうりランド、青少年科学館・岡本太郎美術館見学など

25年度	24年度
18	10

(3) キッズセミナー(定款第4条第1項第1号)

教職経験者で組織するNPO法人教育活動総合サポートセンターと連携し、夏季休業期間中に理科自由研究やパソコンなどの体験活動等を通して新たな興味・関心を喚起しながら、学習活動の充実を図ることを目的に実施した。

ア 日 程 平成25年7月23日(火)～7月27日(土)の5日間

イ 実施内容 基礎的、復習的な学習、科学的思考を働かせて学ぶ学習、創意工夫しながら学ぶ学習の3コース、延べ53講座

ウ 対 象 川崎市生涯学習プラザに通うことのできる市内在住の3年生から6年生の児童

エ 講 師 NPO法人教育活動総合サポートセンターに登録している教職経験者

	25年度	24年度	増減
受講児童数	281	228	53
延べ受講者数	1,008	747	261

(4) 夏休み子ども陶芸教室(定款第4条第1項第1号)

夏休みに小学校5年生～6年生を対象とした陶芸教室を開催した。教職経験者や陶芸教室で学んだボランティアを講師として開催するなど、市民との協働による運営を行った。(8月5日、6日、20日)

	25年度	24年度	増減
参加者数	27	24	3

(5) 施設提供事業(定款第4条第1項第1号)

川崎市における生涯学習活動の拠点である生涯学習プラザにおいて、通年開館(年末年始を除く)による施設(多目的ルーム、フィットネスルーム、実習室、研修室、会議室等)の提供を行った。市民が「いつでも」「だれでも」、会議をはじめ、学習や活動の場として利用できるようにしてきた。年間345日にわたって貸館を提供することにより、施設を十二分に活用し、多くの市民の利用に供した。

区 分		401会議室	301会議室	201会議室	202会議室	101活動室	
件数	25年度	428	487	388	398	508	
	24年度	414	421	396	350	416	
	増 減	14	66	△8	48	92	
区 分		402フィットネス ルーム	302多目的 ルーム	203活動室	303研修室	B1実習室	合 計
件数	25年度	1,416	1,406	957	138	363	6,489
	24年度	1,531	1,351	745	134	329	6,087
	増 減	△115	55	212	4	34	402

注1 会議室、101活動室、研修室、実習室、の利用件数は午前・午後・夜間を各1件として積算、203活動室、多目的、フィットネスルームについては2時間単位を1件として積算。

(6) その他の事業（定款第4条第1項第1号）

- ①ランチタイムロビーコンサート 年間11回実施 来場者数 延べ627人
- ②なかはらママカフェ in 生涯学習プラザ（共催） 全6回 参加者延べ200人
- ③ホームページ作成教室（共催） 全1回 10人

(成果・課題等)

・かわさき市民アカデミーは、平成25年度延べ受講者数が6,500人を超え、安定的な運営を行うことができた。財団は協働事業として広報と会場確保、三者連絡会議の主宰等の役割を担った。アカデミー受講者の中からボランティア活動などの社会貢献をしようという動きも見られた。

・ふれあいサマーキャンプの花巻市コースでは、東日本大震災の影響の残る被災地も訪問し、現地の市民との交流により、子どもたちの心にしっかりと生きる力やいのちの大切さが刻み込まれたと思われる。その他のコースについても子ども同士の交流が各地でみられ、より絆が深まったと考えられる。

・古座川町からの6年生の児童の受け入れも4年目になり、学校訪問も定着し、子どもたち同士の交流を通じて、自治体同士の連携も深まったと思われる。

・キッズセミナーはNPO法人教育活動総合サポートセンターと連携・協力して小学校3年生から6年生を対象に、夏季休業中に体験活動等を通して、学習活動の充実を図ることを目的に実施した。今年度は広報活動を強化し、昨年度と比較すると全体の参加児童数の大幅な増加が見られたが、参加者の少ない教室もあり、今後内容の精選が課題である。

・生涯学習プラザは、フィットネスルームの料金改定を行ったが、利用者が分散し、活動室のスポーツ利用の増加等により、全体の利用率は伸びた。

2 生涯学習に関する活動支援事業 (公1)

団塊の世代を中心としたシニア世代がこれまで社会で培ってきた豊富な経験や、知識・能力等人的資源を有効に活用し、地域社会が抱える多様な課題の解決や学校支援に向けた活動ができるよう、各種講座等を実施し、シニア世代が主体的に社会環境の変化に対応しながら様々な活動ができるよう支援した。

(1) シニア活動支援事業 (定款第4条第1項第2号)

① 地域協働講座 11講座 (短期7・長期4)

NPO 法人かわさき市民アカデミーと協働で、アカデミーで学習した知識・経験を地域還元するとともに、大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携し、シニア活動を支援するシニア活動支援講座 (地域協働講座) を開設した。

ア 前期

	25年度	24年度	増減
講座数	5	5	0
参加延べ人数	218	238	△20

- A 医療最前線の現場から その3ー先端医療学ぶ (医療最前線)
- B 傾聴ボランティア講座 (福祉)
- C 日本映画の巨匠たち一ひと味ちがう映画史講座 (大学連携)
- D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その6 (企業連携)
- E MY HISTORYー自分史をつくる (自分史)

イ 後期

	25年度	24年度	増減
講座数	6	6	0
参加延べ人数	203	213	△10
前期後期合計	421	451	△30

- A 川崎のミュージアムを10倍楽しむ法 (まちづくり)
- B 対話力アップ講座 (福祉)
- C 日本映画の巨匠たち一ひと味ちがう映画史講座 Part2 (大学連携)
- D 地域社会に貢献している川崎の会社の人々 その7 (企業連携)
- E MY HISTORYー自分史を本にしてみよう (自分史)
- F 発達障がい理解を深めるII 少年期～青年期の生活と就労 (子育て支援)

② 生涯学習ボランティア養成・派遣

パソコン講座やかわさき市民アカデミー、地域協働講座等の学習成果を活かして、学校支援ボランティアとして派遣するため、各種講座を実施。学識者を含むシニア事業推進会議を設置し、事業を円滑かつ効果的に進めた。

ア ボランティア養成講座

	修了者		
	25年度	24年度	増減
ア 小学校PC活用授業ボランティア養成講座 平成25年6月18日 (金)～6月22日 (土) 3回	25	15	10
イ 理科実験・準備ボランティア養成講座 平成25年度は実施せず	—	28	—
ウ 特別支援教育ボランティア養成講座 平成26年2月1日 (土)～3月1日 (土) 5回	22	27	△5
エ 保育ボランティア講座 平成25年5月22日 (水)～6月5日 (水) 4回	11	10	1
合計	58	80	6

イ ボランティアの派遣

かわさき市民アカデミーの受講修了者による福祉施設でのボランティア活動支援や川崎市退職教職員などの人材を活かして地域学習グループ等への紹介、シニアシンポジウムによる市民のボランティア活動の事例発表等、シニア世代による地域貢献活動の支援を展開した。

		25年度	24年度	増減
小学校パソコンボランティア	回数	144	53	91
	派遣延べ人数	486	397	89
環境学習ボランティア	回数	22	22	0
	派遣延べ人数	88	88	0
陶芸ボランティア	回数	3	3	0
	派遣延べ人数	24	25	△1
合 計	回数	169	78	91
	派遣延べ人数	598	510	88
特別支援教育ボランティア 交流会	回数	1	—	新規事業
	参加者数	10	—	新規事業

ウ 推進会議

		25年度	24年度	増減
シニア活動推進会議 平成25年10月2日(水)				
	出席者	11	12	△1

エ シンポジウム

		25年度	24年度	増減
シニア活動講演会 テーマ「人生いつでも いつからでも スタート」講師 袖井 孝子氏 平成26年2月19日(水)				
	参加者	85	65	20

(成果・課題等)

シニア活動支援事業は24年度から特別支援ボランティアの養成講座を開設し、学校支援の新たな活動の展開を行っている。ボランティア活動への意欲の高い市民の参加が多く、これからの学校支援活動実践の端緒となった。特別支援教育ボランティアについては、今年度実際に活動しているボランティアへのフォローとして交流会を実施し、経験交流を行い、活動の定着を図った。また、小さな子どもがいる若い層への生涯学習への参加を促進するため保育ボランティア講座も開設し、ボランティアによる保育付の教室や子育て支援のイベントへの派遣等も実施した。

3 生涯学習に関する情報収集、情報提供事業（公1）

市民に幅広く情報の提供を行うため、生涯学習に係わる諸事業や人材情報を収集し、幅広い学習情報の活用に努めるとともに、広報活動の充実を図る。

(1) 学習情報の収集及び学習相談（定款第4条第1項第3号）

退職教職員を中心に教育人材情報の収集とその活用についての事業を推進した。

主な事業 退職教職員に関する指導者人材情報の収集と活用

- ・人材ガイドの作成
- ・学習指導者相談・紹介
- ・学校支援センター（7区）との連携

(2) ホームページ及び生涯学習情報誌による情報発信（定款第4条第1項第3号）

ホームページでは、この法人の事業のほか川崎市の事業や民間事業者の情報を含め、生涯学習情報を広く市民に提供し普及啓発に努めるとともに、市内の公共施設とのリンクも行うなど、情報内容の充実を図ってきた。また、生涯学習情報誌は、情報の収集、提供及び調査研究の一環として、以下二種を発行した。新たにメールマガジンの発行を始め、生涯学習情報提供の充実を図った。

① ホームページ（定款第4条第1項第3号）

- 内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報
 ・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	25年度	24年度	増減
更新回数	423	259	164
web閲覧回数	48,760	42,123	6,637
講座・イベント情報 (Web版)掲載数	212	—	11月から 大幅改編

ホームページアドレス <http://www.kpal.or.jp/>

② 生涯学習情報誌の発行（定款第4条第1項第3号）

ア ステージアップ

- 内 容 ・生涯学習の支援及び財団事業の広報
 ・市内の公共・民間の生涯学習・文化情報の提供
 ・市民グループの活動取材
 ・さまざまなジャンルで活躍している市民へのインタビュー
 ・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	25年度	24年度	増減
発行部数（A4判 8ページ）	1回10,000部	1回10,000部	0
発行回数	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)	0
配布先 生涯学習関連施設及び 金融機関などの民間施設	761	718	43

イ かわさきの生涯学習情報（KSJ）

- 内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業の広報
 ・市内の公共施設等の情報や文化情報の提供
 ・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	25年度	24年度	増減
発行部数（A4判 4ページ）	1回5,000部	1回4,800部	200
発行回数	年8回(奇数月 と4月・10月)	年8回(奇数月 と4月・10月)	0
配布先 生涯学習関連施設及び 金融機関などの民間施設	581	568	13

③ メールマガジン（定款第4条第1項第3号）

- 内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報

	25年度	24年度	増減
発行回数	5	—	新規事業
発信数	63	—	新規事業

(成果・課題等)

ホームページには、画像や動画を取り入れ、生涯学習情報や生涯学習プラザの施設を閲覧者に見やすいように分かりやすいように整理した。

生涯学習に関する情報提供では、講座やイベントの情報、関係リンク先リストも大幅に充実させてきた。また、メールマガジンの発行も始め、市民への情報提供のさらなる充実に努めた。

『ステージアップ』は市内の大学や専門学校の取り組みを掲載するなど、市内の生涯学習活動を多岐にわたって掲載するよう努めた。配布場所も増え、知名度も上がってきた。

『Kパル通信』から『かわさきの生涯学習情報（K S J）』へ移行して2年が経ち、24年度から『かわさきの生涯学習情報』の発行を年6回から8回にしたことで、情報掲載件数、情報掲載施設ともに増え、発行部数も増やした。

II 施設運営管理受託事業 (公2)

1 指定管理施設受託事業 (定款第4条第1項第4号) (公2)

この事業は、生涯学習に関連する施設の管理運営を行い、地域の多様なニーズに対応した特色ある活動を展開し、市民の学習・文化活動、スポーツ活動及び多彩な市民活動を通して、市民の健康な心と体力づくりや文化芸術活動の推進といった市民の生涯学習の振興と、活力に満ちた市民自治社会の構築を目的とした事業である。

(1) 青少年の家 (NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営)

青少年をはじめ幼児から青少年指導者に至る幅広い市民の方々のための宿泊・研修施設として、様々な体験活動、ボランティア活動、青少年の居場所や活動拠点として、青少年の健全育成を図ってきた。学校連携事業、青少年仲間づくり事業、指導者養成事業等の多様な体験活動を通して、また、地域の高齢者や乳幼児との交流を通して、青少年の「生きる力」を育てている。

ア 利用状況

	25年度	24年度	増減
延人数	40,819	40,783	36
団体数	861	948	△87

イ 事業実施状況

事業名	参加者数		
	25年度	24年度	増減
・学校で計画する行事 体験的な学習活動などの共同活動	年間通して随時	—	—
・ほのぼののスクール(学社融合・通学合宿) 「自分でやろう!みんなとやろう!」4泊5日	52	51	1
・ふれあい体験学習(不登校対策・特別支援教育・宿泊体験活動)日帰り2回、1泊2日を3回	122	101	21
・教育相談事業	年間通して随時	—	—

事業名	参加者数			
	25年度	24年度	増減	
・こども仲間づくり 「こどもエコチャレンジクラブ」全12回	384	340	44	
・第17回青少年の家フェスタ「届け 未来の君へ」	1,100	930	170	
・青年教室 「川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部」	381	368	13	
・プール開放 全6回	309	411	△102	
・親子人形劇場「三枚のおふだ」他全2回	297	211	86	
・セカンドスクール	年間通して随時	—	—	
・よちよち歩きの子集まれ(「親子リトミック」を含む)	887	995	△108	
・特別企画事業 「放課後おもしろクラブ」	i おもしろ理科教室全16回	238	576	△338
	ii おもしろ造形教室全10回	90	220	△130
	iii お箏であそぼッ 全17回	238	238	0
・シニア卓球教室 週火曜日	年間参加者数	820	817	3
・子ども運営委員会 委員10名年間6回		48	160	委員数 変更
・親子リトミック(「よちよち歩きの子集まれ」に併合)		—	274	—
・レッツチャレンジASOBI 全7回		180	—	新規事業

(成果・課題等)

ほのぼのスクールは昨年に増して応募があり抽選の上、52名でスタートした。4泊5日の共同生活を通して「生きる力」の育成に寄与できたと思われる。エコチャレンジクラブにおいては年間12回の体験学習の中で環境への意識の高まりとともに仲間を思いやる気持ちが深まった。青少年の家のボランティア(ユースワーカーズ倶楽部)が子どものイベントにかかわり支援をしている。そうした活動が逆に自らの指導力の向上にもつながっている。

利用状況としては、事業に伴う利用延べ人数は増加したが、宿泊利用の団体数が減少した。事業と宿泊の相互の関連性の向上が課題である。

(2) 子ども夢パーク(NPO法人フリースペースたまりばとの共同運営)

「川崎市子どもの権利に関する条例」を具現化する子どもの活動拠点とし、18歳未満の子どもたちが中心となって自分たちで、自由に遊びながら使い方を考え、つくり続けていく施設である。「冒険遊び場(プレイパーク)」の運営と不登校の児童・生徒の居場所としての「フリースペースえん」の運営を柱としており入場料は無料の施設である。「だれもが自分らしくいられるように」を特色に、多彩で多岐にわたる事業を実施し、子どもたちの夢を育み、子どもたちの健やかな成長を目指してきた。

平成25年度は開設10周年記念イベント等に一年間を通して取り組んだ。

ア 利用状況

	25年度	24年度	増減
延人数	93,550	85,597	7,953
団体数	749	652	97

イ 事業実施状況

事業名	参加者数		
	25年度	24年度	増減
・プチ保養in川崎 (福島の子どもたちと遊ぼう！)	90	—	新規事業
・じゃがいもの苗植え	20	—	新規事業
・GWスペシャル まいにちがプレーパークの日	2,928 (10日間)	2,776 (10日間)	152
・天下一ベーゴマ大会	19	50	△41
・あそぼうパン (こどもの日イベント)	122	150	△28
・スタジオの会 (年4回)	90	—	新規事業
・さつまいもの苗植え	14	12	2
・夏野菜の苗植え	12	12	0
・ゆるROCK (年3回)	60	—	新規事業
・あそぼうデー ～とことん外遊び～ (主催：地域の子育てを考えよう連絡会)	105	90	15
・高津区子ども・子育て講座「ゆる親」の すすめ (主催：高津区役所こども支援室)	50	—	新規事業
・夢パまつり2013 ～祝10周年～水遊びスペシャル	2,248	1,579	669
・KUJIROCK2013 SUMMER Vol. 25	312	218	94
・川崎サマースクール2013 福島の子どもたち が遊びに来たよ！ (主催：川崎市民の会)	91	177	△86
・じゃがいも掘り・収穫祭	50	93	△43
・自然エネルギーで遊ぼう	325	320	5
・子ども会議交流会 (主催：川崎市子ども会議)	30	47	△17
・こどもゆめ横丁	1,227	1,554	△327
・夢パ温泉づくり	15	—	新規事業
・10周年看板作り・写真展示	35	—	新規事業
・冒険遊び場全国一斉開催の日	1,949 (9日間)	1,554 (9日間)	395
・野染めをしよう	45	65	△20
・ワークショップ シーバルクの看板を作ろう	50	—	新規事業
・ペットボトルいかだ作り	14	—	新規事業
・さつまいも掘り・収穫祭	40	22	18
・ペットボトルツリー作り	20	—	新規事業
・かわさき子どもの権利の日のつどい 子ども夢パーク10周年記念フェスタ	3,120	—	新規事業
・おやつピザの日 (2回実施)	110	60	50
・プチ保養in川崎 福島の子どもたちと 遊ぼう！ (主催：川崎市民の会)	60	67	△7

事業名	参加者数		
	25年度	24年度	増減
・KUJIROCK2013 WINTER Vol. 26	223	240	△17
・福島親子in川崎 夢パークで遊ぼう！ (主催：福島の子どもたちとともに)	60	67	△7
・初夢！新春イベント ～もちつき・どんど焼き・昔あそび～	813	825	△12
・かわさき農業フォーラム 知ろう！遊ぼう！ 川崎農業フォーラムin子ども夢パーク (主催：川崎市、川崎市農業担い手連絡会)	900	—	新規事業
・KUJIROCK2014 SPRING Vol. 27	440	413	27
・3月11日「ふるさと」を歌おう	22	—	新規事業
・親子でもっとあそぼう会	450	450	0
・おはなしおはなしパーク	390	350	40
・野球大会	91	95	△4
・ベーゴマの日	400	220	180
・スタジオ講習	229	270	△41
・スタジオ利用	5,434	5,490	△56
・おさがりバザール	2,100	1,100	1,000
・大人のための遊びの講座「めだかの楽校」	24	16	8
・遊び場づくりシンポジウム ～身近な地域に遊び場をつくろう～	25	—	新規事業

(成果・課題等)

平成25年度は、10周年YEARとして様々な取り組みを行った。とりわけ、関係者が子ども夢パークで打合せや会議を何度も行い、各セッションで実施できる広報のバックアップ、事業への提案や関わり等、具体的な話し合いを重ね、様々な取り組みを実施できた一年であった。

アゼリアビジョンでの周知を初め、津田山駅線路わきに下作延第一町内会から寄贈頂いた夢パークの看板など数多くの広報が展開され、10周年という節目に、夢パークを大々的に広報することができた。

各事業については、一年間を通し、10周年を子どもたちや市民の方と一緒に作り、お祝いすることを心がけ、日常から多くの人に関わってもらいながら実施・運営することができた。

特に、12月1日に行われた「かわさき子どもの権利の日のつどい～子ども夢パーク10周年記念フェスタ～」は、川崎市や川崎市教育委員会、近隣小学校、近隣町内会、川崎市内の各施設、ボランティア、夢パーク利用者、子どもたちなど、多くの方々に協力いただき、夢パーク史上最高の3,120人という来場者が訪れ、盛大に開催することができた。当日は、夢パークの10年の歴史をまとめた記念誌「川崎市子ども夢パーク10年間のあゆみ」も関係者に配布することができた。

平成25年度の取り組みにより、様々な方面に夢パークの理念を発信することができ、来場者数も昨年より8,000人近く増え、9万人を突破した。この10年で培ってきたものを、次の10年を見据えて取り組んでいく土台とすることができた。

(3) 大山街道ふるさと館（NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営）

二子・溝口は江戸期、東海道の脇往還（大山街道）の宿場町として大いに賑わった古い歴史をもっている。ふるさと館は、こうした大山街道に関わる地域の歴史、民俗、自然に関する資料やゆかりの文化人の作品展示を行うとともに、大山街道にまつわる文化講演会や講座を開催し、高津区民はもとより川崎市民の子どもから高齢者までを対象に、地域の生活・文化などの理解と地域への愛着心の高揚を図ってきた。

また、平成25年度は次期指定管理申請に向け、事業の見直し、検討を行い、新たに地域活性化の取組を充実させた事業計画・提案により、平成26年度からの指定管理者となることができた。

ア 施設利用状況

	25年度	24年度	増減
延人数	32,891	34,671	△1780
利用件数	1,849	2,097	△256

イ 常設展示

延人数	6,624	6,649	△25
延日数	357	357	0

ウ 事業実施状況

事業名	参加者数		
	25年度	24年度	増減
・第1回企画展示「見て分かる！近代日本の税の始まり～ある郷土史家のみたふるさと高津～上田恒三氏寄贈史料から～」	932	948	△16
・第2回企画展示「地域が創出したカルチャー展」～色とことばと花のカルチャー展～	335	890	△555
・趣味の作品展	228	330	△102
・ふるさと子ども出前教室 （高津、東高津、南原、久地各小学校）6,7月	589	667	△78
・第1回文化講演会「春日局と不動明王」9月14日	71	51	20
・第2回文化講演会「溝口の水騒動」10月19日	53	46	7
・第3回文化講演会 「大山街道沿いの遺跡たち」～地下三尺の語り部	33	55	△22
・街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」～深秋の大山街道を訪ねて～11月13日27日	55	57	△2
・郷土理解講座「探ろう！大山街道の歴史」 中学生対象 8月9日	21	35	△14
・郷土理解講座「川崎の発展に尽くした人物伝」 ～枅形城主 稲毛三郎成重の生涯～ 12月11日	79	40	39
・子ども大山街道探検クラブ 月1回	314	163	151
・郷土研究発表会（子ども大山街道探検クラブ）	71	45	26

※大山街道ガイドブック「訪ねて楽しい大山街道」の販売等 430部

(成果・課題等)

- ・展示事業、文化事業とも年度当初の計画の通り実施することができた。
- ・常設展示は、近年特に大山街道に対する市民の関心が高まっていて、散策の途中でさまざまな資料を求めて立ち寄るケースが多々あり、街道沿いに位置する郷土資料館として来館者のニーズに応える展示の工夫が求められている。展示内容の定期的な入れ替えや街道の理解に結びつく小規模の企画展を企画するなど展示内容の充実を図りたい。また、街道のガイドブック「訪ねて楽しい大山街道」は第2版として1000部を増刷、資料の提供に役立っている。
- ・文化事業では文化講演会、街道学習講座、郷土理解講座いずれも募集定員いっぱいとなり盛況のうちに終えることができた。受講者アンケートから「身近な所に歴史的な場所が多くあることが分かった。」「郷土の偉人を知ることは地域の理解に大切なこと。」などの声が寄せられた。
- ・児童生徒の郷土に対する愛好心を育むことをねらいに実施している「ふるさと子ども出前授業」「子ども大山街道探検クラブ」「中学生のための郷土理解講座」は述べ924人の児童生徒を対象に実施した。3月に行った、子ども大山街道探検クラブの研究発表会は指導者も驚くような研究の成果を発表していた。
- ・新規の事業として大山街道フェスタに併せ、「ふるさと館まつり」を実施した。大雪の影響でフェスタが中止になったことにより、やや盛り上がりには欠けたが、地域活性化の視点から実行委員会との連携を密にしてイベントの内容などの検討が課題である。

Ⅲ 生涯学習及び情報に関する管理運営受託事業（公3）

この事業は、生涯学習に関する活動及び生涯学習に関する情報の提供を行うことで、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図ることを目的とした事業である。

1 市民ミュージアム学芸業務（定款第4条第1項第5号）

美術館と博物館の機能を併せ持つ川崎市民ミュージアムにおいて、川崎市から学芸業務を受託し、企画展や常設展の開催、実習等の体験学習を提供し、市民の文化芸術の振興を図った。

平成25年度は開館25周年にあたり、博物館事業、美術館事業を通して25周年関連事業に取り組んだ。

① 企画展

ア 企画展示室1・企画展示室2

	25年度	24年度	増減
総入場数	44,786	42,297	2,489

a	受け継がれた文化財展	参加者数	2,146人
b	マンガ+プラス展	〃	5,309人
c	新世代アーティスト展 in Kawasaki セカイがハンテンし、テイク	〃	6,655人
d	-アニメ化40周年- ルパン三世展	〃	10,840人
e	カワサキ・シティ 日本を牽引する街展	〃	4,252人
f	2013川崎フロンターレ展	〃	6,557人
g	昔の暮らし今の暮らし2014	〃	7,590人
h	第47回かわさき市美術展	〃	1,437人

② アートギャラリー及び博物館展示 ほか

ア アートギャラリー

第一期

- a シリーズ・川崎の美術 響きあうアート
- b カワサキ・ドキュメント

第二期

- c 夜が明ける頃
- d 柴川敏之 2000年後の今に触れる☆プロジェクト PLANET TACTILE

第三期

- e 1980年代の大衆文化

第四期

- f タベルことにまつわること

イ 博物館展示室

- a 民俗 原始 古代 中世 近世 近現代
- b マンスリー展示 (毎月テーマを設定し資料を紹介する)

「鎮守 稲毛神社」	4月6日～5月10日
「往還 中原街道」	5月11日～6月7日
「ペリーがやってきた！来航160周年」	6月8日～7月12日
「夏休み子どもマンスリー 文字・モジ・もじ」	7月13日～8月23日
「震災の記憶 一元禄・安政・大正・平成」	8月24日～9月27日
「川崎宿誕生一起宿290年」	9月28日～11月1日
「塩浜ご由来ー川崎で塩を作っていた頃ー」	11月2日～11月29日
「御影ー神仏の姿ー」	11月30日～12月28日
「新春マンスリー「うま」」	1月4日～1月26日
「農間渡世ー村の中の手工業と商売ー」	1月28日～2月28日
「村の争いー境界論争ー」	3月1日～3月30日

- c 近現代展示室 特集展示

「明治の兵役」	5月18日～8月30日
「市民の足 川崎市バス」	8月31日～12月20日
「地租改正」	12月21日～3月30日

ウ 館外展示

- a 川崎の歴史と文化 川崎市役所第三庁舎 1階ロビー
 - 第4期「まぼろしの八角円堂 寺尾台廢堂跡」3月11日～6月21日
 - 第5期「昔の学校給食」6月24日～9月13日
 - 第6期「中原町水道」9月17日～12月13日
 - 第7期「川崎の絵馬」12月14日～2月14日
 - 第8期「川崎の中世遺跡 有馬中世墳墓」2月17日～4月4日

エ スタジオプログラムによる滞在制作 体験学習室
4月1日～7月19日 滞在制作作家1名

③ 映像ホール・ミニホール

ア 映像ホール上映事業

	25年度	24年度	増減
総入場数	12,131	9,567	2,564

- a シネマテーク・コレクション 戦後の風景
- b 生誕100年・森繁久彌
- c 追悼特集 大島渚のドキュメンタリー
- d シネマテーク・コレクション 境界を越えるATG映画
- e 親子上映会ー「かぞく」として「いのち」を想うー
- f edge of the animation
- g 夏休みアニメ祭り
- h 「一アニメ化40周年ールパン三世展」関連上映
- i シネマテーク・コレクション アルゴの仕事～90年代、独立プロの行方～
- j 洋画特集ー憧憬の欧州ー
- k 「1980年代の大衆文化展」関連上映
- l 開館25周年記念フェスティバル 「～食とアートと音楽と～」関連上映
- m 「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」展 関連上映
- n 脚色術ー原作と脚本の関係
- o 追悼 小説家・山崎豊子
- p 蘇ったフィルムたち～東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集
- q 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞作品アンコール上映
- r 「タベルことにまつわること」展「昔の暮らし今の暮らし2014」展関連上映
タベルこと、イキルこと

イ ビデオ・DVD 定期上映 映像ホール（無料）

	25年度	24年度	増減
総入場数	2,062	1,652	410

「テレビ放送開始60年 テレビニュースは何を伝え残したか」（毎週水曜日）

- a テレビニュースの草創期
- b テレビ受像機の普及)
- c カラーテレビの登場
- d 衛星中継の時代へ
- e カメラの小型化・軽量化
- f 大型報道番組の時代
- g ニュースキャスター登場
- h 昭和をテーマごとに再検証1 「焼け跡と闇市」「引き揚げ」「男女同権」「労働争議」
「マッカーサーのGHQ」「民主化の台頭」
- i 昭和をテーマごとに再検証2 「東京裁判」「講話と独立」「55年体制」「60年安保」
「東京サミット」「政界スキャンダル」

- j 戦後経済成長の影 1 「特需景気」「もはや戦後ではない」「金の卵」「エネルギー革命」「所得倍増計画」「公害」「ドルショックと石油ショック」
 - k 戦後経済成長の影 2 「昭和元禄」「日米経済摩擦」「分割民営」
 - l 戦後経済成長の影 3 「バブル経済」「外国人労働者」「昭和から平成へ」「混迷の時代 人々は生きる」
- 「祭りの映像記録」上映と解説 (毎月 第2火曜)
- a 『牛馬が出てくる祭り』
 - b 『能楽の祭り』
 - c 『船が出てくる祭り』
 - d 『祇園の祭り』
 - e 『精霊の送迎』
 - f 『歌舞伎の祭り』
 - g 『火の祭り』
 - h 『太鼓の祭り』
 - i 『来訪神の祭り』
 - j 『食べる祭り』

ウ ビデオ・DVD 定期上映 ミニホール (無料)

「昭和の時代社会・世相を描いた日本映画傑作選ビデオ」(毎月 第4火曜)

- a 「ほろよい人生」昭和8年
- b 「あきれた連中」昭和11年
- c 「パレットナイフ殺人事件」昭和21年
- d 「王将」昭和23年
- e 「浅草の肌」昭和25年
- f 「プーサン」昭和28年
- g 「あに いもうと」昭和28年
- h 「女が階段を上がる時」昭和35年
- i 「がめつい奴」昭和35年
- j 「濃東奇譚」昭和35年

「子どもむけアニメーション」上映 (毎週 金曜)

- a 日本昔話
 - 「いっすん法師」「つるの恩返し」「金太郎」「おむすびころりん」「花さかじいさん」「かぐや姫」「かちかち山」「やまんばと牛かた」「もも太郎」「かさじぞう」「こぶとりじいさん」「ものぐさ太郎」「うらしま太郎」「ねずみの嫁入り」
- b アンデルセン物語
 - 「みにくいあひるの子」「ぼくと遊ぼうよ」「さようならママ」「マッチ売りの少女・なかよしはいつまでも」「裸の王様・ふたりの秘密」「鉛の兵隊・ねむりの精オーレ」「人魚姫」「沼の王の娘」
 - 「旅の道づれ」「氷姫」
- c 中国の昔話
 - 「蓮の花の姫」「インドの昔話 白いゾウ」
- d まんが世界昔ばなし
 - 「マッチ売りの少女」「イワンのばか」「ヘンゼルとグレーテル」「おおかみと少年」「はだかの王様」「ねずみの嫁入り」「ブレーメンの音楽隊」「たなばたさま」「しらゆき姫」「まほうの子うま」「おやゆび姫」「アルプス名犬バリー」「おおかみと七ひきの子ヤギ」「わがままな巨人」

「ジャックとまめの木」「しりたがりやのとら」「幸福の王子」「おじぞう様の赤い目」「いばら姫」「金色のがちょう」「三びきの子ぶた」「星のコスモス」「ハンメルメルの笛ふき」「おしゃれなクジャ

ク」「シンデレラ」「なかまはずれのこうもり」「フランダーズの犬」「岩じいさん」「アラジンとまほうのランプ」「さるのきも」「ありときりぎりす」「鐘をならしたきじ」「みにくいあひるの子」「まほうのソーゼージ」「にんぎょ姫」「長ぐつをはいたねこ」「赤ずきんちゃん」「なし売り仙人」「王様の耳はロバの耳」「オルペウスのたて琴」「ライト兄弟」「ペーブルース」「エジソン」「メンデル」

e まんが偉人物語

「ヘレンケラー」「シートン」「坂本竜馬」「リンカーン」「ガリレオ・ガリレイ」「コペルニクス」「コロンブス」「一休」「ニュートン」「ダーウィン」「紫式部」「マルコ・ポーロ」「アンデルセン」「ベル」「レオナルド・ダ・ビンチ」「グーデンベルグ」「野口英世」「レントゲン」「キューリー夫人」「ゴッホ」「夏目漱石」「ファールブル」

「美術館シリーズ」ビデオ 上映 (毎月第3土曜日)

- a ルーブル美術館「神なる王・ファラオの時代 ～古代エジプト～」
- b ルーブル美術館「メソポタミ・流砂の興亡 ～古代オリエント～」
- c ルーブル美術館「ビーナスの微笑 ～古代ギリシャ～」
- d ルーブル美術館「皇帝たちの光芒～古代ローマ～」
- e ルーブル美術館「大聖堂の時代 ～中世ヨーロッパ～」
- f ルーブル美術館「花開くルネッサンス ～レオナルド・ダ・ビンチへの道～」
- g ルーブル美術館「北方ルネッサンスのさらめき ～フランドルとドイツ～」
- h ルーブル美術館「巨匠たちの饗宴 盛期ルネッサンス」
- i ルーブル美術館「光と影の王国 スペイン黄金時代」
- j ルーブル美術館「バロックの峰 ルーベンスとレンブラント」
- k ルーブル美術館「太陽王の世紀 ルイ14世とベルサイユ」
- l ルーブル美術館「ロココの華 ルイ15世の時代」

④ 教育普及との連携事業

	25年度	24年度	増減
総参加数	16,013	13,619	2,394

a	出前授業	参加者数	609人
b	歴史散策「川崎近代史探訪 川崎運河を歩く」	〃	19人
c	遺跡めぐり「まぼろしの山城・小沢城を歩く」	〃	19人
d	地域のお祭りを見る「菅の獅子舞」 (*講義8人 見学会中止)		8人
e	学芸員研究ノート (9回)	〃	142人
f	古文書講座 (5回)	〃	85人
g	昔の暮らし今の暮らし 2013 (学校受入れ)	〃	2,187人
h	おやこ歴史散策「消えた用水を探そう」	〃	3人
i	館内見学	〃	408人
j	博物館講座 (3回)	〃	68人
k	見学実習 (大学学芸員資格課程)	〃	231人
l	社会科教育推進事業	〃	10,432人
m	ギャラリー・企画展等関連講座・イベント等 「受け継がれた文化財展」関連	〃	502人

「カワサキ・シティ展」 関連	〃	616 人
「昔の暮らし今の暮らし展」 関連	参加者数	435 人
「響きあうアート」 関連（彫刻と絵画をめぐるワークショップ）		27 人
「タベルことにまつわること」 関連（ツクルことにまつわること-レシピを巡る座談会-）		3 人
n ABC アート・ブック・クラブ 中学生とミュージアムがつくる一冊の本		219 人

⑤ 調査・研究

ア 鶴見大学との保存処理に関する共同研究	
イ 多摩川流域遺跡群研究会との井田伊勢台古墳群調査	
ウ 考古・歴史・民俗の収蔵資料に関する調査・研究	
エ 収蔵品目録〈民俗資料第5集〉の刊行	400 部
オ 研究紀要作成	1,000 部
カ 学習院大学との漫画資料に関する共同研究	
キ 新たな川崎ゆかりの作家・人物に関する調査	

(成果・課題等)

平成25年度は開館25周年にあたり、博物館部門では、記念事業として企画展で「受け継がれた文化財展」と「カワサキ・シティ」展を開催した。入場者数は伸びなかったものの、「文化財展」では、企画展示室1において川崎大師・平間寺の寺宝を一挙公開し、企画展示室2では当館が所蔵する市域の指定文化財の数々を展示し、川崎の文化・芸術・歴史遺産が次世代へ確実に継承されていることを広くアピールすることができた。

また、「カワサキ・シティ」展では、都市・川崎の近代化への歩みをさまざまな展示資料から紹介するとともに、市内の小中学校、大学とコラボレートしたワークショップを実施し、その成果を展示内容に反映して非常に好評を博した。そのほか、マンスリー展示や館外展示など、常に新たな視点から川崎の歴史と文化を紹介することができた。さらに、生涯教育の拠点としての博物館の役割を果たすべく、教育普及担当と連携して多彩な事業を実施した。調査研究においては、前年に引き続き、鶴見大学との共同研究を進め、成果を上げることができた。また、多摩川流域遺跡群研究会との井田伊勢台古墳群調査が本格的にスタートし、多くの市民から注目を集めている。

美術館部門では、開館25周年を記念して当館美術館の基本コンセプトである「メディアとアート」への取り組みを引き継ぎ「現代のコミュニケーション」をテーマに現代の若手アーティスト8組を紹介する「新世代アーティスト展」を行った。美術館としての今後の方向性を示す意義深い展覧会となった。また、当館の強みである漫画への取組を活かした「マンガ+プラス展」ならびに上映企画「夏休みアニメ祭り」をとおして、あらためて当館の特色を内外にアピールすることができた。アートギャラリーでは、「1980年代の大衆文化」展や「タベルことにまつわること」など新たな切り口でコレクションの紹介を行った。上映事業では、それぞれの企画展との連携プログラムを多数実施するとともに、放映開始60年を越えたテレビ番組の歴史に関する特集上映などの取り組みを進めた。館の特性を再度、確認するとともに、新たな可能性を打ち出した一年であった。

2 青少年創作教室（定款第4条第1項第5号）

陶芸、絵画（油絵）等の美術・工芸を中心とした創作活動を通じて、青少年の情操を養うとともにその健全な育成を図る事業を実施した。

- ・ 場所：生田中学校特別創作活動センター
- ・ 参加費：実費

ア 夏休み創作教室

教室名	回数	25年度		24年度	増減
		参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	
ピンホールカメラ	3回	17	51	90	△39
陶芸	4回	12	48	136	△88
工作1	3回	25	75	72	3
工作2	3回	31	93	66	△27
合計	13回	85	267	364	△97

イ 冬の創作教室

教室名	回数	25年度		24年度	減増
		参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	
陶芸	4回	18	72	124	△52
油絵	3回	33	99	96	3
合計	3回	51	171	220	△49

(成果・課題等)

青少年創作教室は昨年度に比べて若干参加者数の減少がみられたが、これは今年度より受講料を徴収することになったためと思われる。生田中学校内にある特別創作活動センターで実施しているため北部に参加者が限られていることもあり、創作教室の運営のあり方を見直す時期にきている。

3 ふれあいネット「生涯学習情報」管理（定款第4条第1項第5号）

生涯学習に関する情報（施設、講座、催し物、団体・グループ、指導者・人材）を収集・入力し、市内47カ所の生涯学習関連施設に設置した「ふれあいネット」を通して、情報提供を行った。また、指導者・人材情報について最新の情報にするため、本人に対して内容確認を実施した。

	25年度	24年度	増減
① 利用件数	18,740	128,666	△109,926
② 入力件数	4,141	6,836	△2,695

③ 情報システム関連事業

- ・ 広報 ステージアップでの広報
- ・ 神奈川県情報システムヘデータベースの提供

※24年度はふれあいネットの公共施設利用予約システムのカードの更新の年にあたり、その影響で大幅な利用件数が増加したが、25年度はほぼ平年の利用数に戻った。

IV 収益事業

1 生涯学習に関する多彩な体験講座事業 (収1)

この事業は、生涯スポーツや文化・生活といった生涯学習の各分野において、多様な学習ニーズに応じた体験教室、講座及び講習会等を生涯学習プラザで開催することにより、市民が健康で生きがいを持ち、創造性と個性を生かすことのできる活力ある市民社会の実現を目指す事業である。

(1) 生涯スポーツ事業 (定款第4条第1項第1号) (収1)

教室名	コース数	講座数	参加者数	延べ人数		
				25年度	24年度	増減
エアロビクス	3	30	107	835	1,018	△183
ボディメイクエクササイズ	3	30	117	733	713	20
気功太極拳	6	72	221	2,084	2,182	△98
ストレッチ健康体操	3	36	44	361	468	△107
ヨーガ	6	72	283	2,594	2,692	△98
たのしいフラダンス	3	36	78	719	590	129
リズム&ストレッチ体操	3	34	81	684	575	109
親子リトミック	6	60	176	1,346	591	755
ママのピラティス(新規)	4	20	70	738	—	新規事業
合計	37	390	1,177	10,094	8,902	1,192

(2) 文化生活事業 (定款第4条第1項第1号) (収1)

① 陶芸教室

ア 「プラザ陶芸教室」水・土曜日

		25年度	24年度	増減
・手びねりコース (12回) 3コース	参加者数	94	98	△4
	延べ人数	1,128	1,176	△48
・ろくろコース (12回) 3コース	参加者数	64	63	1
	延べ人数	768	756	12

イ 「陶芸一般開放教室」木・金曜日

		25年度	24年度	増減
・手びねりコース (3回) 24コース	参加者数	296	274	22
	延べ人数	888	822	66
・ろくろコース (3回) 24コース	参加者数	489	478	11
	延べ人数	1,467	1,434	33

② 文化教室

	教室名	25年度		24年度	増減
		受講者数	延べ人数	延べ人数	
I 期 5月13日～7月24日	園芸	8	36	※	※
	押し花	12	30		
	絵手紙	8	39		
	写真	18	90		
	書道	11	99		
	茶道	18	93		
	オカリナ	21	87		
II 期 10月1日～12月11日	エコクラフト	15	70		
	切り絵	16	75		
	書道	13	50		
	写真	16	76		
	ワイン	22	90		
	オカリナ	19	88		
	俳句	12	50		
III 期 2月6日～3月7日	書道	8	22		
	ワイン	21	53		
	写真	19	52		
	切り絵	15	41		
	アロマ	18	50		
合 計		290	1,191	1,187	4

※24年度の各教室の人数は25年度と期・教室名が異なるので、合計のみ記した。

③ パソコン教室（共催）

NPO法人「RKH研究所」との共催でパソコンの基本的な使い方から応用操作までの講習を実施した。全51回、参加者延べ256人

2 生涯学習関連施設職員研修事業（収2）

(1) こども文化センター等職員研修業務事業（定款第4条第1項第5号）

この事業は、川崎市の生涯学習関連施設である児童館職員の質的向上を目指して、職員研修について受託するものである。

- ①研修期間 平成25年6月27日～平成26年1月30日
- ②研修内容
- ・組織の管理運営
 - ・地域マネジメント・コミュニケーション能力
 - ・大人の心理について
 - ・安全管理・事故防止
 - ・児童心理の理解

- ・子どもの権利について①②
- ・障害児の理解・対応

③講座数

8講座（各内容×2回）

	25年度	24年度	増減
受講者数	856	1,331	△475

（成果・課題等）

24年度から文化教室を開設して25年度は2年目で、教室の運営も落ち着いてきた。また、スポーツ教室では子連れでも参加できる親子リトミックや保育付きのピラティスを新設し、幅広い年齢層の市民の参加を得ることができた。

受託事業については受講者の業務の都合により、参加者数が減少したが、事業の成果はあげることができた。

V その他この法人の管理運営に関する事業（定款第4条第1項第5号）

- 1 他の機関、団体が行う事業への協力（定款第4条第1項第5号）
 - (1) NPO法人RKH研究所 各種パソコン関連講座開催への共催
 - (2) 第23回体操フェスティバルかわさき2013開催に伴う後援
 - (3) ゆりがおか児童合唱団 第37回定期演奏会の開催に伴う後援
 - (4) かわさき体操の集い2013の開催に伴う後援
 - (5) 川崎市スポーツ指導者協議会主管事業の後援
 - (6) 日韓草の根図書館シンポジウム実行委員会の後援
 - (7) かわさき市民フロンティア体験講座の開催に伴う後援
 - (8) 25年度おと絵がたり本公演の開催に伴う後援
 - (9) 芸術村あすなろ創立30周年記念公演に伴う後援
 - (10) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザの共催
 - (11) KAWASAKI しんゆり映画祭2013開催に伴う後援
 - (12) 2013少年の祭典ボレロの開催に伴う後援
 - (13) コンサート名曲のアルバム in 川崎の開催に伴う後援
 - (14) 第16回記念ニッタク杯ひよこ&たまご卓球大会開催に伴う後援
 - (15) 桔梗の会各流派合同舞踊会の開催に伴う後援
 - (16) 健康体力フェア2014の開催に伴う後援
 - (17) ホームページ体験一日講座開催への共催
 - (18) 第37回高津区吟剣詩舞道連盟発表大会の開催に伴う後援
 - (19) 平成25年度かわさき農業フォーラムの開催への共催
 - (20) 図書館フォーラムかわさき2013の開催に伴う後援

2 職員研修（定款第4条第1項第5号）

開催日	内容	対象	参加数
4月1日	生涯学習財団について、服務、庶務、経理事務等	財団職員	10
5月17日	効果的なチラシ・コピーの 作り方とマネジメント	財団職員	20
6月3日	パソコン研修 Word 中級	財団職員	13
	パソコン研修 Word 上級	財団職員	18
6月21日	接遇研修	財団職員	15
7月12日	応急手当研修、普通救命講習	財団職員	9
7月18日	地域マネジメント、 コミュニケーション能力	財団職員	5
8月29日	組織の管理運営	財団職員の管理職	2
9月27日	パソコン研修 Excel 中級	財団職員	12
	パソコン研修 Excel 上級	財団職員	14
10月21日	パソコン研修 PowerPoint	財団職員	10
11月13日、15日 19日、21日、22日	学芸室職員の特別研修	ミュージアム 学芸室職員	18
2月7日	ホームページセミナー	財団職員	1

3 消防・防災訓練

(1) 平成25年8月26日(月) 9時30分～11時

- ①訓練種別 避難訓練
- ②参加者数 29名
- ③発災想定 地震発生による避難誘導とその後の対応
- ④訓練内容
 - ア 非常放送設備の取り扱い
 - イ 避難誘導
 - ウ 救助、応急処置
 - エ 非常持ち出し、設備点検
 - オ 帰宅困難者対応訓練

(2) 平成26年2月24日(月) 9時15分～10時30分

- ①訓練種別 総合訓練
- ②参加者数 28名
- ③発災想定 プラザ3階給湯室から出火
- ④訓練内容
 - ア 火災受信機、非常放送設備の取り扱い方法
 - ア 通報・避難誘導訓練
 - イ 消火器による消火訓練
 - ウ 消火栓ホースによる放水訓練
 - エ 避難器具（救助袋）による避難訓練

4 職員採用（定款第4条第1項第5号）

- (1) 学芸室総務課（非常勤嘱託職員）平成25年6月1日採用 公募1名
 - ・募集期間（平成25年5月1日～5月14日）
 - ・応募者 2名
- (2) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成25年9月1日採用 公募1名
 - ・募集期間（平成25年6月21日～7月20日）
 - ・応募者 13名
- (3) 子ども夢パーク（非常勤嘱託職員）平成26年4月1日採用 公募2名
 - ・募集期間（平成25年11月8日～平成26年1月10日）
 - ・応募者 10名
- (4) 総務室2名・青少年の家1名（非常勤嘱託職員）平成26年4月1日採用 公募3名
 - ・募集期間（平成25年12月4日～平成26年2月12日）
 - ・応募者 20名
- (5) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成26年4月1日採用 公募1名
 - ・募集期間（平成25年12月21日～平成26年2月12日）
 - ・応募者 6名
- (6) 総務室2名・事業推進室2名（非常勤嘱託職員）平成26年4月1日採用 推薦4名
- (7) 総務室経理係長・子ども夢パーク副所長・大山街道ふるさと館館長（常勤嘱託職員）
平成26年4月1日採用 推薦3名